

令和4年度 第2学年第1回医学セミナー

令和4年5月7日(土)、本校会議室において今年度最初の医学セミナーが行われました。

昨年度に引き続き、茨城県立こども病院名誉院長の須磨崎亮先生を講師に迎え、第2学年医学コース生徒および医学科進学希望者34名が参加しました。



須磨崎先生からは、事前に参加生徒に対して、日本を含めて、世界で最も多く使われている新型コロナウイルスワクチンができるまでの研究の積み重ねを記した

総説の文献を読んでおくように、と宿題が課されていました。この文献の説明を3名の生徒が自分なりに行き、須磨崎先生からその内容を、生徒がよく理解できるように、生物の「セントラルドグマ」に基づいて解説していただきました。

90分に渡る先生の講話を聞いて、参加生徒からは、「感染予防について、『感染経路対策』、『感染源対策』、『宿主対策』を徹底して行うことが大切である」、「インフルエンザとの違いが分かった」という感想や、文献を通してことのほかに、「茨城県の医師不足について考えるようになった」、「自分になりたいと思う医師像が少し見えたような気がする」といった感想が挙げられました。

今年度スタートしたばかりですが、「医師」という職業に向けて就業意識の醸成を医学セミナーを通して図ることができれば良いと思います。

